

第3号様式

(表)

索道運転事故報告書											
運輸局長 殿				事業者名 提出 年 月 日							
発生日時	年 月 日 時 分 天候										
事故種類											
場 所	索道	停留場	停留場間	起点	K	m					
死者 傷数	死亡者	乗客	人	乗客以外 の旅客	人	索道 係員	人	公衆	人	計	人
	重傷者	"	人	"	人	"	人	"	人	"	人
	軽傷者	"	人	"	人	"	人	"	人	"	人
運転支障	復旧	月	日	時	分	支障時間	日	時間	分		
関係者	氏名	職名		年令		現職勤続年月数					
原因											
再発防止 対策											
概況											

(日本工業規格A列4番)

(裏)

索道種類	1. 普通索道(交走式、循環式、その他) 2. 特殊索道(循環式、滑走式、その他)	自然災害	1. 水害 2. 風害 3. 雪害 4. 震害 5. 雷害 6. 霧害 7. 落石 8. 冷害 9. 気温上昇 10. 倒木 11. その他		
事種	1. 索条切断事故 2. 搬器落下事故 3. 搬器衝突事故 4. 搬器火災事故 5. 索道人身傷害事故	人身関係	原因 1. 線路内立入り 2. 搬器から転落 3. 停留場で接触 4. 施設の巡回中 5. その他の作業中 6. その他		
原大	1. 索道係員 2. 索道施設 3. 索道外 4. 自然災害	備考			
索道係員	取			運転士	1. 信号 2. 合図、標識 3. 速度超過 4. 制動 5. 職場離脱 6. その他
	扱			車掌	1. 信号 2. 合図、標識 3. 車扉 4. その他
				停留場係員	1. 信号 2. 合図、標識 3. 職場離脱 4. その他
				監視員	1. 合図、標識 2. 職場離脱 3. その他
	い			保守係員	1. 検査 2. 監督 3. その他
				管理者	1. 指示 2. 確認 3. その他
素因	1. 仮眠 2. 錯誤 3. 失念 4. 憶測 5. 知識 6. 技りよう 7. 怠慢 8. 設備、機器不適切 9. その他				
背要素	1. 疲労 2. 薬害 3. 心労 4. 精神し緩 5. 疾病 6. 検査不良 7. その他				
索道施設	1. 索条 2. 緊張設備 3. 支柱 4. 滑車 5. 保護設備、防護設備 6. 搬器 7. 走行装置 8. 握索装置、接続装置 9. 救助設備 10. 保安設備 11. 電源 12. その他				

索道外	1. 妨害 2. 線路内支障 3. 線路内立入り 4. 火災 5. 電源 6. その他
-----	---

注1. 「事故種類」は、事故が規則第3条第2項に掲げる二種類以上の索道運転事故に該当する場合には、同項各号の順序に従って最先位の種類を当該事故の種類とすること。

2. 「死亡者」には、即死者及び負傷後その負傷に起因して24時間以内に死亡した者を記入すること。

3. 「重傷者」には、30日以上医師の治療を要する負傷者を記入すること。

4. 「軽傷者」には、重傷者以外の負傷者を記入すること。

5. 「関係者」には、当該事故の発生に関係した索道係員を記入すること。

6. 裏面各欄は、該当する事項の番号を で囲むこと。

7. 備考欄には、「その他」に該当する事項についての説明を記入すること。